

自己実現への道

第93回 - 第6章 「創意と忍耐の前に『不運』はない」(その12)

★ 障害が大きい程成果も大きい

人生は夢や空想や情熱が作り上げて行くものである。何が何でも、絶対に手に入れる！と決めて目的のために情熱を注ぎこむ・・・大きなまわり道や、落とし穴に落ちたとしても、めげないで進み続ける。それでも目の目には大きな障壁が立ちふさがるものである。途方に暮れるほど、手の届かないところであって、険しい道の向こう側にあるものばかりである。

一見して実現不可能と思われるような夢というのは遠いものであり、現実とのギャップの大きさに諦めかけてしまうのだが・・・でも、違う。それがあなたの人生なのだ。だって、今まで夢にいなわれて、切り開いてきたではないか。苦渋の十字架の苦しみをここまで乗り越えてきたのだ。なのに、なぜ、諦めるのか。きっと、君は後悔する。心の奥底ではまだ夢への情熱が温泉のように湧き続けているのだから・・・

我々の人生に順風満帆はない。どんな難関でも、前進、どこまでも前進。その積み重ねで、いつかきっと遂に、知らず知らずのうちに、その障壁を乗り越えていることに気づくものなのだ。

一步一步、前進、前進、辛くても前進・・・それが生きるということの本質なのだ。

★ここぞと思うものにあなたの金、時間、心のすべてを投げ出せ！

君は、何かしようとするとき、上司の命令だからやるのか？ 命令がいつも正しいとは限らない。何かしようとするときは、自らが経営者であるとの意識を持って、進まなければ会社は成長しない。誰かの責任にして何かを終わらせることに何の意味があるのか。失敗は大きな貴重な学びとして、共に経営者の責任として、反省し、これを改善し、よりよい方向へ向けて更に前進するジャンピングボードとしなければならない。常に自分の責任を自覚してすべてを受け入れ、共に学び、成長してゆかねばならない。逃げてはならない。自分の持つ最大限の能力を活かして業務を遂行し、更に学び続ける。全身全霊でそのことに取り組み、すべての道は人類の幸福へと繋がる。その努力は、あなただけのものではない。この世の全てのものへの恵みとなるのだ。そして当然のことながら、それはあなたへの報酬として還ってくるのだ。お金だけじゃなくて、喜びや満足感や生きがいとなって、何百倍もの喜びがあなたのもとに還ってくるのだ。そのことを忘れてはいけない。つまらないことで腹を立てたり、人の責任にして自己弁護したりしてはいけない。すべてはあなたの責任であり、みんなの責任でもあるのだから。個は全のため、全は個のためにあるのだ。

きっと見えざる力が道を示してくれる。持てるものの全てを投入して全集中するのだ。

時間も、心も、背水の陣で臨むのだ。人生とはこのプロセスそのものなのである。

〈MIKO〉

☐ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より